

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 3 月 8 日作成)

小委員会名	クールルーフ適正普及促進小委員会	主 査 名：竹林 英樹 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：清田 誠良
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒートアイランド適応策の研究事例収集，普及に向けた議論，評価方法の検討 ・ 海外の事例収集，情報交換 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：竹林英樹 (神戸大学)，幹事：三坂育正 (日本工業大学)，橋田祥子 (明星大学) 委員：赤川宏幸 (大林組)，井原智彦 (東京大学)，梅田和彦 (大成建設)，小島倫直 (竹中工務店)，近藤靖史 (東京都市大学)，酒井孝司 (明治大学)，田坂太一 (建材試験センター)，西岡真稔 (大阪市立大学)，村田泰孝 (崇城大学)，森山正和 (撰南大学)，吉田篤正 (大阪府立大学)，吉永美香 (名城大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fi00-12/fi50-15.html

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. ヒートアイランド適応策の研究事例，評価方法について議論した。 2. 国土交通省のアスリート・観客にやさしい道の検討会の提言について，意見交換を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 「クールルーフガイドブック」の更なる普及が今後の課題である。

2016 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>ヒートアイランド適応策の研究事例，評価方法の検討として，三坂委員より暑熱環境下における人体生理・心理評価の説明を頂き，議論を行った。環境省のまちなかの暑さ対策ガイドラインについて紹介頂いた。</p> <p>国土交通省のアスリート・観客にやさしい道の検討会の提言について，委員会において意見交換，意見集約を行い，竹林主査，近藤委員が国土交通省の担当者を訪問し，委員会の意見を伝えるとともに，情報交換を行った。</p> <p>大阪 HITEC が新たに制定した再帰性反射材料，日射反射率の促進試験に関する認証制度について，竹林主査より説明され，評価方法や認証基準等について意見交換を行った。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。